



CEATEC JAPAN 2012 キッズセミナー 実施報告

環境部

IT・エレクトロニクス業界は、世界をリードする省エネ、創エネ、蓄エネといった環境技術、そして効率的なエネルギー管理や社会システムを支えています。

将来のIT・エレクトロニクス業界、そして日本を担う子供たちに、IT・エレクトロニクス分野に興味を持ってもらうと同時に、環境や省エネ等に関連する学習の場を提供することを目的に、CEATEC JAPAN 2012において、小学生を対象としたキッズセミナーを開催いたしました。

セミナーでは、「エネルギーの大切さ」や「家庭でできる省エネ」等について知ってもらうために、地球温暖化の影響による気候や生態系の変化の紹介や、参加型の太陽光の発電実験等を交えながら、一人ひとりの小さな省エネ努力の積み重ねが、地球にやさしい環境づくりに繋がるということをわかりやすく説明いたしました。

この小学生を対象とした環境教育の取り組みは、シャープ株式会社とNPO法人気象キャスターネットワークが連携し、2006年より全国で年間500校の小学校を対象に実施しているもので、これまでのべ13万人以上の児童を対象に実施されてきました。平成23年度にはリデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の文部科学大臣賞も受賞しております。

本セミナーをCEATECの場で開催することにより、CEATEC展示会場における最先端の技術・製品・サービスを体験できる機会との相乗効果で、より一層IT・エレクトロニクス業界に対する子供たちの興味を喚起することもキッズセミナーの狙いです。

今回は昨年に引き続き、2回目の開催となりましたが、今後も引き続き、子供たちが環境問題について学べる機会を提供していきたいと考えております。



授業の様子



実験の様子

JEITA REPORT vol.03

 Activity Report

実施日時

2012年10月6日（土）9:00～10:00

テーマ

「地球温暖化対策とエネルギーの大切さ」

講師

シャープ株式会社 斎藤 智恵 様（右）
NPO 法人気象キャスターネットワーク 依田 司 様（左）



参加者数

子供28名、保護者36名

